

# 昭和61年度 和歌山県文化功労賞

## こ やま しゅうじろう 小 山 周次郎

住 所：和歌山県田辺市

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：明治43年

### ■ 主な表彰歴

昭和52年 田辺市文化賞

昭和53年 文化庁長官表彰

昭和55年 勲四等瑞宝章

### ◎業績及び経歴

旧制田辺中学校卒業後、父親の経営する「紀伊新報」の記者となり、和歌山支局で記者としての見識を培う。父親が病に倒れたため昭和13年に田辺市へ戻り同社社長代理となり新聞経営を継承する。戦時中の新聞統制により一時やむなく中止に至る。戦後、氏の新聞発刊への情熱は断ちがたく「人権の尊重」等を新聞思想の基本として、昭和23年に「紀伊民報」として復刊する。

親しまれ信頼される日刊地方紙の経営に努めるかたわら、昭和43年紀南文化財研究会会長を務め紀南地方の埋もれた文化財の紹介や、研究発表誌「くちくまの」の発刊などに参画し、和歌山県内の文化財の重要性を県民に認識させた功績は大きい。また、郷土を題材にした「清姫と玉姫」「那智の48滝」「紀南の野仏」などの特集を多く紹介したり、「紀伊俳壇」など県民の身近な文化をとりあげ、紙面を通して県民文化の向上に大きく寄与されている。